

美しい 県土づくりNEWS



2006 年

6月

岩手県県土整備部手づくり広報誌

美しい県土づくり NEWS23 号

平成 18 年 6 月 16 日発行

編集 県土整備企画室

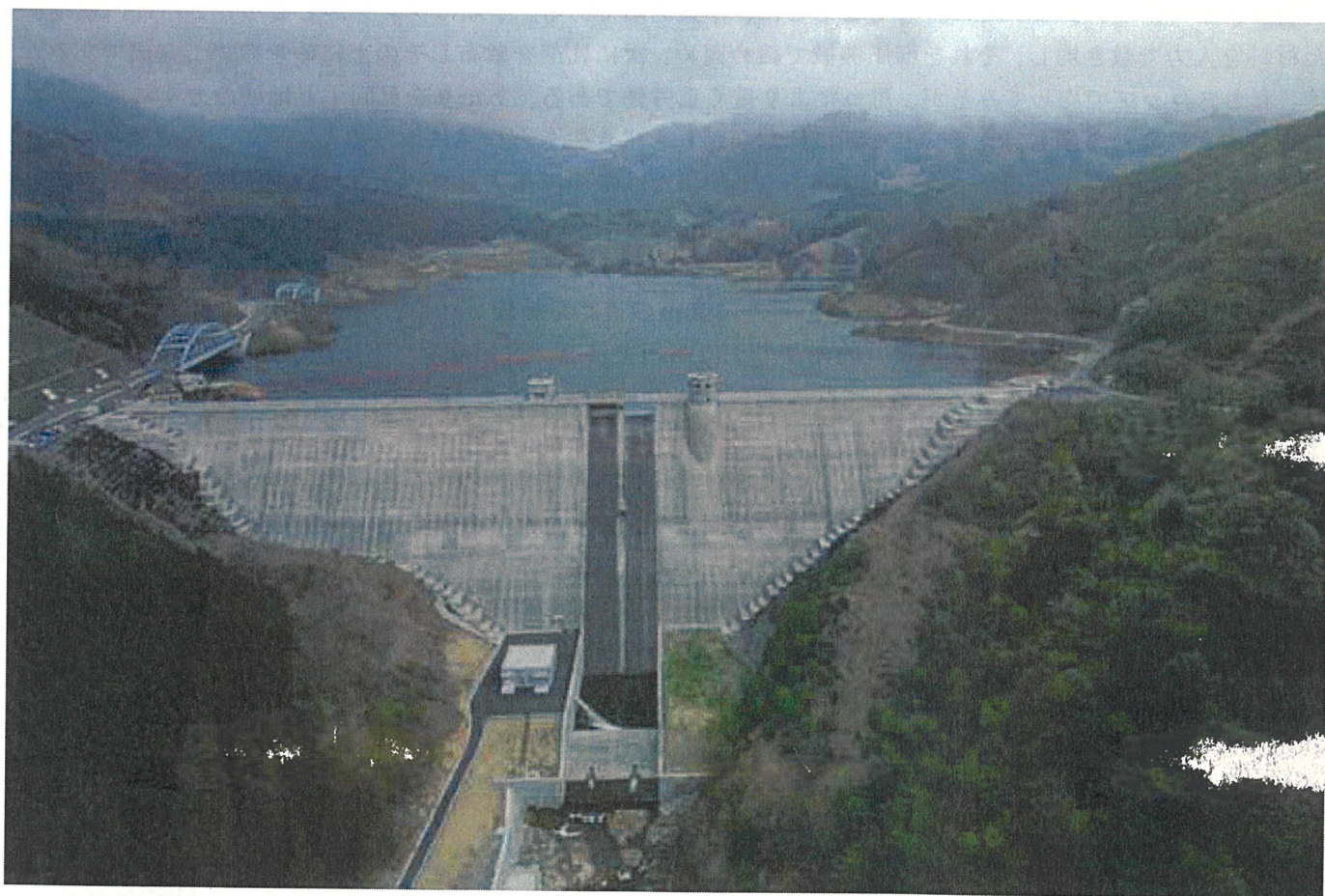
CONTENTS

Page	
2	● 今月の人 渡部道路都市担当技監
3	● 平成 19 年度政府予算提言・要望活動
7	● 建設業総合相談センターを開設しました
8	● 新しい風で元気に ～建設業のチャレンジ～
9	● 新たな政策形成に向けた取り組み
10	● トピックス
13	● インフォメーション
16	● みんなの声

岩手の風景

鷹生ダム（大船渡市）

平成 17 年 5 月 11 日より行ってきた試験湛水。平成 18 年 5 月 10 日に最高水位に到達しました。最高水位での異常が無いことを確認しました。5 月 9 日から 5 月 11 日まで一般開放を行い、のべ 2,006 人の方が見学され、堤頂部から流れ落ちる水の状況などを楽しんでいただきました。



鷹生ダム建設事務所では、現場見学について随時受付しております。職員が現地を案内します。
詳しくは、P10 トピックスをご覧ください。



日曜日の午前9時30分「おはようございます」の元気な挨拶とともに、手にはスコップ、首にはタオルを巻いた軽米地区の方々が堤防上の道路に集まってくる。これから、平成11年の集中豪雨により新たに整備された雪谷川の堤防上の道路と一緒に舗装しようというのである。

事の発端はこうである。平成15年に二戸地方振興局が開催した地域県政懇談会の席上で、軽米町の方から「何とか雪谷川堤防上の道路を舗装して貰えないだろうか。草を刈る時には石が跳ねるし、地元の散策路や通学路にもなっているので・・・」との要望が出された。

堤防上の道路は、河川管理用のためなので通常は舗装しない。しかし、ここの道路は地域の方々の日常生活に広く利用されている。舗装するにはお金がかかるが、なんとかこの要望を実現するよい方策はないだろうか。さっそく振興局土木部が中心となって関係者といろいろ知恵を出し合った結果、良いアイデアが出てきた。それは舗装材料にストックしてあるアスファルト切削材を活用し、この敷き均し作業は地域住民と県・町の職員が協働して行えば費用はほとんどかからないし、最低限必要な乳剤散布や転圧機械などは「地域活性化事業調整費」で対応してはどうかという案であった。さっそくこのアイデアを実現すべく、関係機関との協議や予算要求などが進められ、翌平成16年10月、土・日の休日を利用して二日間で800mの舗装工事に挑戦することとなったものである。

当日、オープニングセレモニーもそこそこに、作業開始である。手順はダンプがところどころに山積みにした材料を人力で敷き均し、それを転圧機械で締め固め、次に乳剤を散布しその上に砂を撒いて完成である。早速、私もスコップで均してみるが、思ったより重く重労働である。あたりを見回すと地域の方々に混じって町長さんや女性職員の顔も見える。みな額に汗しながらも生き生きと作業に取り組んでいる。乳剤散布では、飛散防止のためのベニヤ板を押さえる作業があり、簡単そうなので率先して引き受けたが失敗であった。あとでズボンを見ると一面に細かな乳剤が付着しており、もう履けそうにもない。最後に砂を撒いて、総勢70名の協働作業による800mの立派な舗装道路が完成した。皆さんの顔に笑顔と達成感が満ち溢れている。11月には、小軽米地区で2回目の作業を行い、合計で1500mの道路を舗装したが、通常の舗装工事であれば480万円ほど必要となるが、協働作業により約4割の190万円で済み、大幅なコスト縮減が達成出来た。

これは私が二戸地方振興局に勤務していた時に住民参加で実施した「結いのみちづくり」の概要です。いま県では、このような地域住民との協働による地域づくりを推進しております。昨今、県財政が極めて厳しい環境にあっては、行政だけではどうにも立ち行かない状況にあります。地域が主体性を持ってアイデアを生かしながら地域づくりに取り組むことで、地域力が高まり、愛着を感じられる地域を創造することが出来ると思います。県土整備部でも、より良い地域づくりのために「県民参加のガイドライン」と県民参加・NPO協働を推進するための「県民参加の推進プログラム」を作成して、地域住民の参画・協働による地域づくりを推進しており、いま各地域で様々な取り組みが行われつつあります。

私たちが平成16年・17年に雪谷川ではじめた「結いのみちづくり」は、今年軽米町が「ユイコのケアドール事業」を創設して、町が引き継いでいくことになりました。なんともうれしい限りです。この輪がもっともっと県内に広がっていくことを期待しております。皆さんもチャレンジしてみませんか!





平成 19 年度政府予算提言・要望活動

国の平成 19 年度予算編成に向けて、県土整備部では、6 月 2 日～9 日に、国土交通省（本省・東北地方整備局・岩手河川国道事務所・三陸国道事務所）に要望活動を行いました。

安全で安心して生活ができる県土形成を推進するとともに、道路ネットワークなど産業振興を進める基盤整備を重点的に進めていきたいと考えています。

◇要望事項◇

都市基盤の整備について

本県においては、都市交通、住環境等の都市基盤施設の整備が立ち遅れており、潤いと活力ある都市の基盤づくりを推進することが緊急の課題となっています。

また、近年は、中心市街地の空洞化が進行しているため、各種都市機能の充実により中心市街地の再生を図ることが重要となっています。

つきましては、都市交通の円滑化、中心市街地の活性化、防災対策等の課題に対応するため、次の事項について、特段の御配慮をお願いします。

- 1 道路特定財源制度の見直しにかかわらず、適正な財源措置により、中心市街地活性化等に資する街路事業、土地区画整理事業及びまちづくり交付金の財源確保
- 2 北東北の交流拠点都市をめざす県都盛岡市における事業間連携と重点投資による効率的な市街地整備の促進
 - (1) 盛岡南新都市開発整備事業
 - (2) 盛岡駅西口都市開発整備事業

污水处理施設整備の促進について

県では平成 22 年度末污水处理人口普及率の目標を 80%と定めた「いわて污水適正処理ビジョン 2004」を策定しております。

しかしながら、多くの市町村においては、早期に整備効果を発現するため、厳しい財政状況の中で重点的に予算確保に努力しているところではありますが、平成 16 年度末の污水处理人口普及率は全国 79.4%に対して、62.3%と大きく立ち遅れている現状にあります。

特に下水道整備には、長い期間と多額の費用を要し市町村財政に大きく影響を与えていることから事業予算の確保が大変重要であります。

つきましては、「下水道ビジョン 2100」の実現に向けて必要な下水道事業予算の確保について、特段のご配慮をお願いします。

信頼感ある安全で安心できる県土形成について

本県においては、河川の整備水準が未だに低く、三陸沿岸は津波常襲地帯であり、加えて、その地形的・社会的要因から多くの土石流危険渓流や急傾斜地崩壊危険箇所を抱えていることなどが、活力ある地域社会の形成を阻む大きな要因となっています。

また、平成 11 年 10 月末の県北豪雨被害、平成 14 年 7 月の台風 6 号に伴う豪雨被害、平成 15 年 5 月の宮城県沖地震被害、平成 17 年 8 月の集中豪雨被害など、自然災害が相次いで発生して

いるほか、平成10年2月から火山活動が続いている岩手山の動向について、今なお監視を続けている状況にあります。

このような集中して起こる災害に対して、ハード対策に加え、河川情報の提供や水位情報周知河川の指定、洪水ハザードマップ作成の支援、市町村と住民の情報を相互に通報できるシステムの整備、土砂災害警戒避難基準の設定、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域の指定等、ソフト対策も充実し、高齢化が進む中、災害弱者にも安全で安心して生活できる県土を形成することが、喫緊の課題となっています。

さらに、北上川の一関遊水地から宮城県境までの区間は、川幅が狭い狭隘部となっているとともに、川沿いに集落が点在しています。このため、洪水時には集落への浸水被害や生活道路の冠水などにより集落の孤立化が生じており、早急な治水対策が急務となっています。

つきましては、社会資本整備の重点的、効果的かつ効率的な推進をするとともに、災害に強い県土づくりを推進するため、次の事項について、特段の御配慮をお願いします。

- 1 一関遊水地建設事業の早期完成と、一体管理の必要性からの太田川等の直轄管理区間編入
- 2 石鳥谷地区をはじめとする北上川上流河川改修事業の促進
- 3 砂鉄川河川激甚災害対策特別緊急事業等の早期完成と、木賊川をはじめとする広域河川改修事業等の推進
- 4 胆沢ダム建設事業をはじめとする河川総合開発事業の促進
- 5 八幡平山系直轄火山砂防事業をはじめとする砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業の促進
- 6 津波対策としての海岸高潮対策事業、津波・高潮危機管理対策緊急事業、地震・高潮等対策河川事業の推進
- 7 一関遊水地から宮城県境までの狭隘部における一関・川崎地区土地利用一体型水防災事業の促進
- 8 北上川流域の連携交流の拠点となる水辺プラザを含む河川環境整備事業の促進



(平成14年7月 砂鉄川 出水状況)



(予断を許さない岩手山)

北上川の清流化確保対策について

旧松尾鉱山から排出される強酸性坑廃水を主因とする北上川の水質汚濁を防止し、清流化を推進することは、本県の永年の念願でありましたが、関係5省庁の了解事項に基づき、坑廃水に係る恒久処理対策の一環として建設された新中和処理施設による処理と発生源対策工事及び赤川水路保全対策工事の進捗とあいまって、その対策が大きく前進したところであります。

しかしながら、北上川の清流化には、なお課題が残されていることに鑑み、対策の万全を期するため、国の責任において次の措置を講じられますよう、特段の御配慮を要望します。

- 1 新中和処理施設の維持管理は、半永久的に続くことに鑑み、当該事業に係る国の負担について、財政事情に左右されることのない恒久的な安定した制度を確立するとともに、中和処理等諸対策に係る県の財政負担について十分な財源措置を講じること。
- 2 新中和処理施設維持管理事業の実施に伴い不測の事態が生じた場合及び当該施設が正常に稼動しているにもかかわらず、災害等によって北上川の水質が悪化する恐れがある場合は、国において適切な対策を講じること。
- 3 赤川については、緊急区間の保全水路工事が完了しているが、その他の区間についても早期に対策を検討のうえ工事を実施すること。
- 4 発生源対策工事が完了したことから、県が借り受けている国有林用地の返地について、適切な対応措置を講じること。

道路整備予算の確保と高規格幹線道路等の整備促進について

道路は、活力ある地域社会の形成、産業の振興を図るうえで最も基本となる社会基盤であり、地域間の交流・連携の促進を図るとともに地震等の災害に備えるため、高規格幹線道路をはじめとする災害に強い高速交通ネットワークの整備が不可欠です。

特に、本県は首都圏の一都三県に匹敵する広大な面積を有し、沿岸地域と内陸地域の間には北上高地が縦走していることから、「広さ」と「陰しい峠」を克服し、地域産業の振興を図るため、物流拠点である港湾と内陸部とのアクセスの向上と、地震や津波等の災害時に緊急物資等を輸送する経路の確保が重要な課題となっています。

つきましては、次の事項について、特段の御配慮をお願いします。

- 1 地方の道路整備の実態を考慮した必要な財源の配分
 - (1) 平成19年度予算については、地方の個性ある活性化のため、重点的に地方へ傾斜配分すること。
 - (2) 地方の実態を考慮した計画的・効率的な道路整備が今後とも重要であるため、道路特定財源制度の見直しにかかわらず、適正な財政措置により財源を確保し、必要な道路整備を促進すること。
- 2 地方道路交付金事業の対象範囲を補助国道まで拡大すること
地方道と国道との一体的な整備を図るため、地方道路交付金事業の対象範囲を補助国道まで拡大すること。

3 高速自動車国道（国土開発幹線自動車道等）の整備

全国 11,520km の計画を確実に実現するため、料金収入を極力活かした有料道路方式を堅持し、新直轄方式と併せて、スピードを落とすことなく一体的に整備すること。

4 一般国道の自動車専用道路や地域高規格道路の整備

既定計画を確実に実現することを前提に、その整備促進を図ること。

5 一般国道 106 号及び一般国道 283 号仙人峠道路の指定区間編入

(1) 「岩手、秋田を結ぶ地域連携軸」の形成を図る骨格道路の一層の強化を図るため、一般国道 106 号を指定区間に編入し、一般国道 46 号等と併せ、国で一体的に管理すること。

(2) 高速自動車国道と一体となって全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路である高速自動車国道に並行する一般国道の自動車専用道路・一般国道 283 号仙人峠道路を指定区間に編入すること。



釜石港や久慈港の湾口防波堤建設及び海岸事業の促進について

安全な航行と効率的な荷役作業のため静穏水域を確保するとともに、スマトラ沖地震で大津波が発生し甚大な被害を引き起こしたところであり、三陸沖地震において発生が予想される津波から貴重な人命や財産を守るため、湾口防波堤や防潮堤の早期整備が望まれます。

つきましては、釜石港や久慈港の湾口防波堤建設及び海岸事業の促進について、特段の御配慮をお願いします。

国有港湾施設の維持管理を国の責任において行うことについて

直轄事業により国が整備した国有港湾施設の維持管理については、港湾管理者に委託されているが、釜石湾口防波堤等の大規模施設が完成することにより、その維持管理に多大な費用を要することが予想されます。

つきましては、国が整備した国有港湾施設を国の責任において維持管理することについて、特段の御配慮をお願いします。

先行補償している漁業補償金のうち国直轄分を一括して支払うことについて

漁業補償金のうち国直轄施行分については、事業着手の際に本県が一括立替払いしているところであり、先行補償に係る立替額が県財政を圧迫する原因ともなっております。

つきましては、国からの未払い分を早期に一括して支払うことについて、特段の御配慮をお願いします。

建設業総合相談センターを開設しました！

【趣旨】

建設投資の縮減等により県内建設業を取巻く環境が一層厳しくなっていることから、全県をあげた支援体制を構築し、建設業の構造改革の推進を図るため、建設業総合支援本部及び建設業総合相談センターを設置しました。

建設業総合相談センターでは、(社)岩手県建設業協会の経営支援センターと連携を図りながら、次に掲げる業務を行います。

- (1) 建設事業者に対する各種情報の提供及び相談に関すること。
- (2) ワークショップ等との情報共有により、新分野進出等、経営基盤の強化を促すための環境の整備に関すること。
- (3) 建設業総合支援本部及び関係機関との連絡調整に関すること。
- (4) このほか、地域の建設業振興施策に関すること。



公所名	センター名称	設置日
県南広域振興局	県南広域建設業総合相談センター	5月26日(金)
花巻総合支局	花巻・遠野地域建設業総合相談センター	5月26日(金)
遠野土木センター	花巻・遠野地域建設業総合相談センター連絡窓口	5月26日(金)
北上総合支局	北上地域建設業総合相談センター	5月26日(金)
一関総合支局	一関総合支局建設業総合相談センター	5月26日(金)
千厩土木センター	一関総合支局建設業総合相談センター連絡窓口	5月26日(金)
盛岡地方振興局	盛岡地方振興局建設業総合相談センター	5月22日(月)
大船渡地方振興局	大船渡地方振興局建設業総合相談センター	5月15日(月)
釜石地方振興局	釜石地方振興局建設業総合相談センター	5月25日(木)
宮古地方振興局	宮古地域建設業総合相談センター	5月22日(月)
岩泉土木事務所	宮古地域建設業総合相談センター連絡窓口	5月22日(月)
久慈地方振興局	久慈地域建設業総合相談センター	5月22日(月)
二戸地方振興局	二戸地域建設業総合相談センター	5月9日(火)



県南広域振興局



一関総合支局



盛岡地方振興局



釜石地方振興局



宮古地方振興局



久慈地方振興局

【放送日】6月18日(日) あさ7時45分

(再放送：毎週日曜日 夕方5時15分)

◆番組の概要

公共工事の減少などに伴い、厳しい経営環境にある建設業。岩手県は、建設業の経営基盤強化や業種転換などを支援するため、各振興局等に「建設業総合相談センター」を開設しました。

番組では、厳しい状況の中でも、新しい発想と工夫で前向きにチャレンジする建設業者をご紹介します。

新しい風が地域を元気にします！

◆番組の内容の一部を紹介します。

実はこの炭のオブジェを作っているのは、道路や建物などをつくる建設業の会社。今回は、建設業の新しいチャレンジについてご紹介します！炭のオブジェをつくっているのは、木戸口工務店の事業部。「ぐりーんぐれーす【炭の詩(うた)】」として炭を使ったインテリアを製造販売しています。一つ一つ丁寧に手作りされたオブジェは県内外のデパートで販売されており、贈り物などに人気をよんでいます。炭のオブジェを新事業にしようという、決断から行動まではわずか1ヶ月。驚きのスピードで新事業はスタートしました。しかし、まったく新しい分野への進出と言うことで、苦労もあったようです。今、建設業界全体で、このような新分野への進出が注目されています。その背景にあるのが、公共事業の減少です。現在、道路建設などの県内の公共事業は減少傾向が続いています。一方、建設業の許可業者の数はほぼ横ばい状態。仕事をする企業数は変わらないのに、仕事は減っているという状況です。公共事業にばかり頼ってはいは、経営環境がどんどん厳しくなると予想されます。



朝、地域の高齢者のみなさんが集まってきました。矢巾町にある「デイサービスセンター百万石矢巾口」です。ショートステイや接骨院も併設されているこの施設は、建設業を営む株式会社水本が親会社。建設業から、介護事業へのチャレンジです。デイサービス以外にも、介護タクシーの運営や訪問介護、高齢者用の住宅の建設など、介護事業において、その取り組みはどんどん広がっています。さらに、新しい分野への進出も始まりました。



収穫されたイチゴは温泉施設で販売されるほか、介護施設の食事にも提供されています。建設業から、介護事業や農業へ。あざやかな新事業展開を成功させた株式会社水本。自社の資源をいかしたのはもちろんのこと、その根底には、地域への想いがありました。岩手県は、建設業の経営基盤強化や業種転換、経営の多角化などを支援します。この5月から各振興局等に、「建設業総合相談センター」を開設。建設業界の相談機関、「建設業経営支援センター」と連携を図りながら、情報提供や相談事業などを行います。建設業界の技術や資本などを新しい分野にもたらすことで、地域経済の活性化と雇用の安定を目指します。県の支援と、建設業界の新しい動きについて、建設業経営支援センターの水上さんにお話を伺いました。水上さんは、建設業者の新規事業などに対し、相談に応じています。

(以下、詳しい内容につきましては県政番組のHPからご覧ください) <http://www.tvi.jp/jouhou/>

お問い合わせ先：県庁県土整備企画室 019-629-5954

新たな政策形成に向けた取り組み

県土整備部では、「岩手県住宅・土木基本計画」に基づく政策課題に的確に対応し、時代にあったそして次世代に引き継ぐ社会資本の整備と活用を進めるため、部内横断的に、様々な政策課題に取り組むワーキンググループを設置しています。

平成 18 年度のテーマ

自然環境との共生（政策課題研究会）

岩手県地球温暖化対策地域推進計画（CO₂ 8%削減）が策定され、地球温暖化対策の取組みが重要課題となっていることから、生態系への配慮やCO₂ 削減に向けた取組みなど、「持続可能な県土づくり」や「自然共生型の公共事業」について研究する。

- ・環境首都いわてにおける「道路」・「河川」・「都市」施策、それぞれの今後の方向性と実施プランを提案する。

社会資本整備と産業振興（政策課題研究会）

社会資本整備の目的の一つである産業支援の役割について、これまでの成果を客観的に検証するとともに、今後の産業支援のための社会資本整備のあり方について、地域経済活性化、物流促進、観光振興等の様々な効果を「産業振興」という大枠で捉え研究する。

コミュニケーション戦略会議ワーキンググループ

県民満足度の向上、県民の声が反映される社会資本の提供と活用、県民の意思や地域の主体性を尊重する地域づくりを進めるため、県民と行政によるよりよいコミュニケーションの環境づくりを行う。

- ・ 県民・NPO・市町村等とのパートナーシップの構築
- ・ 県土づくりニュースの発行
- ・ ファシリテーションスキルの向上
- ・ 団塊世代の大量退職に対応した技術力の伝承

災害改善対応カイゼンチーム

大雨や地震などの自然災害が発生又は予想される事態に対して、災害対応マニュアルの整備や図上訓練、情報共有のためのデータベースの構築等、実践を想定した取組みにより、職員の誰もが的確かつ迅速に対応できる環境づくりを進める。

- ・ データベース構築・導入による災害対応時の効率アップ及びデータストック
- ・ 災害対応訓練・研修等実施による災害対応業務の効率化
- ・ その他、問題解決へ向けた対応策の具体化

TOPICS

鷹生ダムが最高水位に到達 現場見学も受付

5月10日到達

昨年17年5月11日より行ってきた試験湛水ですが、5月10日にサーチャージ水位(最高水位 E1=287.90m)に到達し、その結果、異常がないことを確認しました。※E1とは、標高、海拔のこと。

今後は、徐々に水位を下げていき、常時満水位(E1=260.50m)まで水位を下げて試験湛水は終了となります。

ダムの見学

学校、地域・団体等の社会科見学や現地視察などができます。安全のため、申し込みによる見学以外では現場に入れませんので、ご連絡をいただくようお願いします。

http://www.pref.iwate.jp/~hp4578/shin_koshin.html

■申し込み先

鷹生ダム建設事務所

TEL: 0192-27-9960 (担当: 野村)

Fax: 0192-27-9961

BC0007@pref.iwate.jp



○道の駅「遠野風の丘」

施設のユニバーサルデザイン化を実施

道の駅「遠野風の丘」は、県と遠野市が整備した道路利用者の為の休憩施設で、県では駐車場・トイレ部分を整備しています。

「遠野風の丘」は現在年間約100万人の利用者がおり、休憩施設としてのほか、遠野の情報発信基地として、物産の販売拠点として充実していることから、年々その利用者は増加しています。

県では、「バリアのないユニバーサル先進県」を目指しており、だれもが安心して、同じように外出できる環境を整備するため、「遠野風の丘」の車いす駐車場からトイレまでに屋根をかけ、トイレにオストメイト対応設備を設置しました。今回のユニバーサルデザイン化にあたっては、設計前の段階から、利用者、工事業者、設計業者、行政関係者等でワークショップを行い、さまざまな意見を踏まえて整備しました。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp5005/oshirase/2006-5-12.htm>

■問い合わせ先

県南広域振興局花巻総合支局土木部遠野土木センター

TEL: 0198-62-9938



○けんみん住宅プラザオープニングイベントが開催されました。

5月8日～30日開催

けんみん住宅プラザが、アイーナ(いわて県民情報交流センター)内に移転したことから、オープニングイベントが開かれました。住まいのパネル展示会、ガーデニングや住まいづくりのポイントなどをテーマにした家づくり講習会、地球にやさしい暮らし方などのセミナーなどが多彩に開催されました。

けんみん住宅プラザは、住まいに関する情報ステーションです。開館時間も9時から19時までとなり、利用しやすくなりました。ぜひ足をお運びください。

■問い合わせ先

けんみん住宅プラザ TEL: 019-652-7744

<http://www.jutakuplaza.com/>

○網取ダム周辺の清掃活動を行いました。

5月13日開催

網取ダムでは、「網取ダムの環境と清流を守る会」と共同でダム湖周辺の清掃活動を実施しました。

当日は、雨が降る中ではありましたが、約250名の参加がありました。参加していただいた皆様ありがとうございます。

なお、秋にも清掃活動を実施する予定です。



○吸川（一関市）の放水路見学会を開催

6月5・13日開催

総合学習の一環として、一関市立南小学校4年生（約100人）が、吸川の放水路の見学をしました。

吸川の環境保全活動をしている「吸川をきれいにする会」と一関局の職員が、子供たちのときに鋭く、ときに難しい質問に答えました。その後は、一緒に放水路のトンネルを見学。次世代を担う子供たちは、実際の見学を通じて、川の環境や放水路の役割を、学んでくれたようです。

■問い合わせ先

岩手県南広域振興局一関総合支局土木部

TEL：0191-26-1418

○第144回岩手県都市計画審議会を開催

5月23日開催

委員20名のうち12名が出席して行われました。

今回は、①盛岡広域都市計画区域区分の変更、②屋根不燃区域（矢巾町）の変更について、審議されました。詳しい議事録はこちら

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0604/>

■問い合わせ先

岩手県県土整備部 都市計画課 TEL：019-629-5887



○いわて河川情報モバイルメール配信サービス開始

6月8日開始

川の水位が高くなり、洪水のおそれがあるとき、皆さまの携帯電話に直接メールでお知らせするモバイルメール配信サービスが始まりました。

ご利用には登録が必要です。アドレスは、

<http://www.pref.iwate.jp/m/> です。

■問い合わせ先

岩手県県土整備部 河川課 TEL：019-629-5901



＝出かけてみませんか！＝

○川井村に自生するハナヒョウタンボクの紹介
(いわてレッドデータブック：Aランク)

稀少種に関する情報は、保護の観点から具体的な生息場所は、原則として非公開としています。

しかし、地域の資源として啓蒙を図る観点から、川井村では看板を設置しハナヒョウタンボクを公表しています。

このハナヒョウタンボクは、6月に入りますと白い花が咲き、秋にはヒョウタンの形をした赤い実を結びます。

この木を観察して感じたことは、純白で可憐な花が夏の強い日差しを受け、秋には真っ赤な実を付けることが、とても不思議に感じた次第です。

場所は、国道106号沿いの川井村門馬小学校の向かいですの
で、興味のある方は是非お立ちより下さい。

■ 問い合わせ先

岩手県宮古地方振興局土木部

Tel : 0193-64-2221

※今回の取材には、川井村の方にもご協力をいただきました。



6月が見頃です。

レッドデータブックAランクとは？

1 絶滅の危機に瀕している種

現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難な種

2 岩手県固有で分布が局限しており、存続基盤が極めて脆弱な種

※「いわてレッドデータブック」から抜粋



秋には、赤い実をつけます

＝ 募集しています ＝

○新しい橋の名称を募集しています

盛岡駅西口地区と盛南地区を結ぶ新しい橋を雫石川に建設しています。橋桁の形、橋を演出する親柱、欄干などは、「水と緑、県都盛岡の新しい玄関（仮称）中央大橋」をテーマとした景観を創出するよう工夫がほどこされています。

この橋が多くの方々に愛され、利用され、親しみをもって呼ばれるよう名称を募集しています。

■応募資格 どなたでも応募できます

■作品内容

- ① 自作未発表の作品
- ② 他の名称と紛らわしくないこと

■応募方法

官製はがきに、①橋の名称、②名称の説明、③郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、応募してください。

■応募点数

はがき1枚につき、1点の応募（1人何点でも応募可）

■応募〆切 6月30日（当日消印有効）

■応募上の注意

応募作品は返却しません。著作権は、岩手県に帰属します。

■結果発表

8月上旬に新聞等を通じて発表。

■表彰

特賞（1名）感謝状、1万円相当の記念品

入賞（3名）5千円相当の記念品

http://www.pref.iwate.jp/~hp1008/work/chuuoohasi_meisyobosyu.pdf

■問い合わせ先

盛岡地方振興局土木部道路整備課

TEL：019-629-6642・6643

＝ 参加してみませんか ＝

○いわての木に住まいづくり勉強会

第1回住まいの講座開催

岩手の豊かな森林を守り育てるためには、岩手県産材を積極的に活用した住宅の普及促進が鍵となります。

「岩手の木で家を作る」取り組みをしている県内の代表的なグループの活動事例を発表していただき、事業成果や課題を意見交換する勉強会です。

■日時・場所

6月23日（金）13：30～16：30

岩手県森林組合会館（盛岡市中央通3-15-17）

■内容

- ・木で建てたい！をお手伝い「木とくらしの相談所」
- ・木のぬくもりといつまでも「みやこ型住宅」

■問い合わせ

いわてハウジングフォーラム事務局（財）岩手県建築住宅センター）TEL：019-623-4414

<http://www.jutakuplaza.com/new/index01.html>



○木造住宅耐震診断士講習会

県では、切迫した「宮城県沖地震」に備えて平成 17 年度に、「木造住宅耐震診断支援事業」を始めました。現在、県が認定した木造住宅耐震診断士は、約 260 名いますが、今年度も診断士養成講座を開催します。

■日時・会場：

盛岡会場 7 月 6 日（木）13：30～16：30

久慈会場 7 月 14 日（金）13：30～16：30

■木造住宅耐震診断支援事業とは

住宅の所有者が、県が認定した木造住宅耐震診断士に診断を受けたい場合、市町村に申し込む。診断費 3 万円のうち、所有者が 3 千円を負担。残りの 1/2 を国が、1/4 ずつ県と市町村が負担する制度。

対象エリアは、県下全域。

■問い合わせ先

岩手県県土整備部 建築住宅課

TEL：019-629-5866

（社）岩手県建築設計事務所協会 019-651-0781

（社）岩手県建築士会 019-654-5777



○ぎんがの森夏まつり

花巻広域公園ぎんがの森の夏まつりが開催されます。フリーマーケットや屋台村など楽しいイベントが開催されます。ぜひお越しください。

当日は、テニスコート、運動広場が無料開放となります。

■月日 平成 18 年 7 月 17 日（月）

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1501/doboku/kouikitop/kouikikouen.htm>

■問い合わせ先

（財）岩手県スポーツ振興事業団

TEL：019-641-1127

県南広域振興局花巻総合支局土木部

TEL：0198-22-4971

= 新しいサービス =

○いわて花巻空港エアポートライナー

いわて花巻空港と県内観光地を結ぶエアポートライナーの運行が開始されました。

エアポートライナーとは、事前予約制の乗合タクシーで、いわて花巻空港を発着する定期便ダイヤにあわせて運行していますので、空港を起点とした観光にとっても便利です。いわての観光めぐりにぜひご利用ください。

■運行コース

①平泉コース（所要時間 105 分）

北上展勝地～えさし藤原の郷～平泉中尊寺～
一関駅東口

②花巻南温泉峡コース（所要時間 53 分）

松倉温泉～志戸平温泉～渡り温泉～大沢温泉～
山の神温泉～鉛温泉～新鉛温泉

③遠野市コース（所要時間 75 分）

土澤ましかどふれあいセンター～あえりあ遠野

④鶯宿温泉コース（所要時間 70 分）

つなぎ温泉～鶯宿温泉

※1 各コースとも往復運行です。各コースの所要時間は「いわて花巻空港～各終点」の片道を表示。

※2 定期便の到着時刻の 30 分後に出発、出発時刻の 60 分前にあわせて運行。

■ご利用方法

2 名様以上から利用できます。（予約制）。電話・ファックス・インターネットにて、利用日の 1 ヶ月前から前日正午まで受け付けます。ただし、運行便に空席があれば予約なしでも乗車できます。（事前予約便がなかった便は運行取りやめとなり、当日乗車はできません。）

■問い合わせ

花巻地区タクシー業協同組合

TEL・Fax 0198-24-2333（月～土 9：00～17：00）

<http://www.porano.jp/taxi>

＝ お知らせ ＝

○6月は土砂災害防止月間です

梅雨の時期は、長雨による土石流、地すべり及びがけ崩れなどの土砂災害が起こりやすくなります。

「日頃の備え」のほか、地響き、湧水及び濁水などいっつもと違う現象に気づいたときは、「早めの避難」が大切となりますので、テレビ・ラジオの気象情報にご注意下さい。

■問い合わせ先

岩手県県土整備部 砂防災課

TEL：019-629-5921

または最寄りの振興局土木部等へ

＝ 発行物情報 ＝

○岩手の道路（リーフレット）

本県の道路整備の状況や必要性について、分かりやすく紹介しています。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0602/leaflet.pdf>

■問い合わせ先

岩手県県土整備部 道路建設課

TEL：019-629-5866

○ダムデータベースいわてのダム（英語版）追加

県内のダムを紹介する「いわてのダム」に英語版ができました。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0605/hp0605/mizuumi/damdb/index.htm>

■問い合わせ先

岩手県県土整備部 河川課

TEL：019-629-5901

○汚水適正処理推進ネット第4号

下水道や浄化槽など汚水処理施設に関する情報を発信する「汚水適正処理推進協ネット第5号」を発行しました。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0612/suishin5/net5.pdf>

■問い合わせ先

岩手県県土整備部 下水環境課

TEL：019-629-5899

○いわて出張所広報「いわて出張所通信第15号」

八幡平市（旧西根町、旧安代町、旧松尾村）・岩手町・葛巻町を管轄するいわて出張所通信を発行しました。

[http://www.pref.iwate.jp/~hp1307/tusin\(H18.6.1\).pdf](http://www.pref.iwate.jp/~hp1307/tusin(H18.6.1).pdf)

■問い合わせ先

盛岡地方振興局土木部岩手出張所

TEL：0195-62-2888



（仮称）中央大橋完成イメージ

みんなの声

opinion/idea/proposal/recommendation

花巻空港の駐車場について

身障者用駐車場を健常者が使用していることがあり使用できない。

また、駐車場が空港施設から離れていて体の不自由な人たちにとってかなり不便です。

体の不自由な人たちの事を考えて駐車スペースを空港施設の近くに設置してほしい。

2006/3/6/電子メール

いわて花巻空港の身体障害者用駐車場については、「車椅子専用駐車場」として平成5年度から段階的に整備を行い、現在、8台分の駐車スペースを確保しています。

駐車場の利用状況は、毎日職員が点検し、場合によっては、車椅子専用駐車場である旨のお知らせ文を車両に書き置くなどして周知を図っていますが、御指摘を踏まえ、さらに点検・指導等を通じてルール徹底を図っていきます。

また、車椅子専用駐車場の設置場所については、現在の空港施設の中で、ご利用されるお客様の利便性や安全性、現在の施設状況を勘案して場所を選定していますので、ご理解願います。

opinion/idea/proposal/recommendation

あじさいの郷づくり協議会が【みちのくあじさい園」と関わりを持ち、5年を経過しましたが、みちのくあじさい園は、日本経済新聞の何でもランキングで、東日本のあじさいの名所第1位にランキングされました。しかし、地域の受入れ態勢は未整備であり、地域内全戸から会費を徴収しながら支援活動を行っているところですが、課題は多く、苦慮しています。ついては、下記事項について、促進支援を要望いたします。

1 一関大東線から「みちのくあじさい園」へのアクセス改良について

(1) 一関大東線から市道中里原沢線への改良

大東線から直線で結べる道路の新設

2006/3/7/文書

ご提言いただいた、主要地方道一関大東線から「みちのくあじさい園」へのアクセスを改良するための道路新設・道路改良は、一関市の事業として計画・実施されるべきものですが、県としても一関市からの一関大東線への取り付け協議を円滑に処理できるよう、計画段階から一関市と連携を密にして支援していきたいと考えておりますので、ご理解願います。

opinion/idea/proposal/recommendation

最近、道路の傷み陥没等が目についている。早急に整備してほしい。

2006/3/13/文書

春先の舗装路面については、除雪や凍結融解等により損傷が多く見られることから、例年、2月頃から補修作業を実施しています。

また、春先には道路パトロールを強化し、陥没箇所等の早期発見及び早期補修を実施し、安全で円滑な交通の確保に努めていますのでご理解をお願いします。

opinion/idea/proposal/recommendation

道路の除雪について

県民から多数苦情が寄せられたということは問題である。除雪に対する真剣さが不足していたのではないか。

2006/3/13/文書

県で管理している国県道の除雪については、初期除雪や凍結路面対策等を迅速かつ効率的に推進するため、除雪機械の配置、気象や交通情報の収集、住民協働による歩道除雪、路上放置物件の取締り等の警察との連携について除雪体制を確立し、安全で円滑な道路交通の確保に努めています。なお、大雪等の場合は、通常除雪よりも多くの時間を要することから、除雪の遅れ等の事態が発生する場合がありますがご理解願います。

また、雪崩防止柵等の雪害対策施設や高齢者等の利用の多い歩道等の融雪施設については、必要性を検

討しながら引き続き整備を進めていきます。

opinion/idea/proposal/recommendation

県営住宅の入居募集について

平成17年度の入居募集が先日あったようだが、今回の募集軒数に対し応募数は、かなりあったようだ。これではいつになったら入居できるのか。県営住宅をどのように考えているのか。

2006/3/16/フリーダイヤル

平成17年度の第5回の盛岡地区に係る定期募集の応募状況は、32戸の募集につき293世帯からの応募があり、抽せん倍率は約9倍となりました。このように県営住宅に入居を希望される方が多数おられることは認識していますが、県財政が厳しい中で、新規に盛岡市内に土地を取得し県営住宅を建設することは困難な状況です。

県としては、今後も、既存の住宅で老朽化したものについて、計画的に建替や改善を進めていくとともに、母子世帯や高齢者など住宅困窮度の高い方については、優先入居制度の活用を図り、少しでも多くの住宅に困っている方に入居していただけるよう県営住宅の適正な管理に努めていきますので、ご理解願います。

opinion/idea/proposal/recommendation

沿岸部の幹線道路整備について

沿岸部の幹線道路（国道45号、仙台までの高速道路）を早期整備するよう要望してほしい。

2006/3/20/フリーダイヤル

本県沿岸部の幹線道路である一般国道45号は、青森県八戸市から久慈市までが一般国道の自動車専用道路の八戸・久慈自動車道、久慈市から宮古市までが地域高規格道路の三陸北縦貫道路、宮古市から宮城県仙台市までが一般国道の自動車専用道路の三陸縦貫自動車道として路線指定されており、国により整備が進められています。

県では、八戸・久慈自動車道の久慈市夏井以北の整備計画策定、三陸縦貫自動車道の「宮古道路」「釜石山

田道路」「高田道路」の整備促進及び「宮古市～山田町間」「釜石市～大船渡市間」「陸前高田市以南」の整備

計画策定、三陸北縦貫道路の「普代バイパス」「中野バイパス」の整備促進及び「尾肝要道路」の整備区間指定について引き続き国に対し要望していきます。

opinion/idea/proposal/recommendation

沼宮内駅前の苗代沢橋が狭く、老朽化し、車同士すれ違うのが大変なので改善してほしい。

2006/3/28/電子メール

主要地方道岩手平舘線岩手町大字江刈地内の苗代沢橋は、御存知のとおり老朽化し、幅員が狭いため、利用者の皆様に大変ご不便をおかけしていますが、通過車両及び歩行者の安全確保のため、緊急対応として橋の欄干の高さを上げるとともに、舗装補修を行っています。

また、苗代沢橋を含めた国道4号からいわて沼宮内駅までの区間における改良計画については、平成12年度から平成14年度にかけて地元と交渉を行いましたが、地域の合意形成が得られず事業着手に至らなかった経緯があります。

このため、苗代沢橋については国道4号からいわて沼宮内駅までの区間で、街づくりを含めて岩手町や地域の皆様と意見交換を行い、検討していきたいと考えていますので、御理解と御協力をお願いします。